職務経歴書

●年●月●日現在

 氏名：○○　○○

■経歴要約

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 内容 |
| 経歴概略 | ※学生時代の専門分野、研究内容について触れた後、これまでの企業での職務内容（対象製品、経験年数）やどんなことができるのか、簡単に記載して下さい。ボリュームとしては5行程度で問題ありません。修士課程では高分子材料の研究室において○○の研究をおこなっておりました。高分子化学の基礎知識を生かし、現在はディスプレイ向けの電子材料の研究開発に○○年従事しております。素材の検討から量産対応までの一連の流れの経験があります。また顧客折衝の経験もありますので、顧客のニーズから用途開発をおこなうことができます。 |
| 技術知識、経験 | ※企業での経験・知識の他、ツール類等については学生時代のものも含めて記載頂いて構いません。【習得技術・知識】・高分子重合、低分子有機合成・樹脂材料の知識（ＵＶ硬化樹脂）　・・・・光学的評価、耐久性評価など各種評価技術【使用可能装置】SEM、TEM、FT-IR、NMR　GC-MS、HPLC、XRD、GPC、EPMA、DSC　・・・ |

■職務経歴　※経験企業毎に作成して下さい。2社以上経験されている場合は、直近の企業から記載。

●●●●年●月～現在　○○株式会社

　　　　　　　　　　　　　事業内容：

　　　　　　　　　　　　　資本金：　　　　　　　　　従業員数：

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 期間 | 担当製品 | 所属・業務内容 | 使用ツール技術知識 | メンバー／役割 |
| 0000年0月～0000年0月 | PDP用電磁波シールドフィルム | 【配属部署】○○研究開発部　○○グループ　※所属組織も記載して下さい。【担当業務】(1)ディスプレイ向け光学フィルムの開発・顧客との打合せ・○○特性を出すための配合設計および・試作ならびに評価(評価項目：)・量産立ち上げ・海外顧客への技術情報プレゼン※↑業務プロセスを１つ１つ箇条書きで。＜量産工程＞○○⇒★○○⇒★○○⇒○○★工程を中心に条件検討を実施(2)●●の開発・顧客との打合せ・配合設計および試作・量産立ち上げ・海外顧客への技術情報プレゼン＜量産工程＞○○⇒★○○⇒★○○⇒○○★工程を中心に条件検討を実施【成果】・基剤の変更により、透過性を担保しながら従来品のコスト比15％減を達成・歩留まり低減の原因となっていた接着剤の塗布不良をブレード変更により、30％→5％へ低減※業務上の成果も具体的な数値と共にアピールください※どのような技術課題を解決すためにどのような検討をして成果が得られたかご記載ください。書類選考官が自社業務の何にどう活かせそうか判断します。 | IRSEM色度計ウェット塗工技術グラビアコーター | 主担当／4名 |
| 0000年0月～現在 | LCD用保護フィルム | 【配属部署】技術部　技術課【担当業務】(1)○○のプロセス改善・新規設備の導入・原料の選定・生産プロセス条件設定＜量産工程＞○○⇒★○○⇒★○○⇒○○★工程を中心に条件検討を実施【成果】○○の機能向上および○○％コストダウンに成功 | 引張試験機グラビアコーターホモジナイザーロールミル | プロセス開発担当／20名 |

■受講研修、学会発表など

※学会発表や特許出願、品質管理研修などの各種研修受講経験があれば記載して下さい。

＜学会発表・論文＞

　　2008年6月　「○○○の立体選択的合成」日本化学会第○○回　秋季年会

＜受講研修＞

　　2008年8月　特許研修基礎

■資格・表彰など　※TOEICなども受験していらっしゃる場合は記載ください。英語力のアピールとなります。

　2010年5月　○○分野　グッドデザイン賞　受賞

　2011年7月　▽△により社長賞受賞

　2012年7月　TOEICスコア620点

■学士、修士研究概略

※テーマが同一の場合はまとめて、そうでない場合は分けてまとめてください。

●●●●大学大学院●●●研究科　●●●研究室　（YYYY年MM月～YYYY年MM月）

＜研究テーマ＞

　●●●部位をコアに持つ△△の不斉合成とその評価

＜研究概要・成果＞

※研究の目的、実際に行った検討、実験・評価手法などを端的にご記載ください。

■自己ＰＲ

※業務経験または研究で身に付けたビジネススキル、業務の進め方、心がけ、周囲とのやりとりにおけることや

パーソナリティなどを意識してまとめてみてください。

修士課程では、●●を専門とし、●●・●●の研究を行ってきたため、有機化学、無機化学、固体物理、生化学の知識があります。新技術開発の際に●●や●●●●等に関する知識が役に立つと思われます。

現職において製品開発を進める際には●●の点を工夫し、●●を心がけたことから、●●のような成果につなげることができました。

今後は●●で身に付けた、コミュニケーションスキルを生かしながら、さまざまな分野に対して積極的に取り組んでいきたいと思います。

以上